

平成 2 8 年度事業報告書

平成 2 8 年 4 月 1 日から 2 9 年 3 月 3 1 日まで

特定非営利活動法人 なおみの会

1 事業の成果

就労支援関係では利用者が設備の充実した B 型及び A 型事業所や生活訓練の事業所に移動したが、新たな利用者も増加した。28 年度末の就労継続支援 B 型利用契約者数は 41 名、実利用者数は 37 名であり、昨年度と同様に推移した。本年度も当法人は特に精神障がい症状の安定しない人などに対して手厚く、より一層就労、あるいは生活支援を重視して活動に取り組んだ。一方、障がい者の生活・暮らし方全体を支援する「地域活動支援センター」「指定特定相談支援事業」「共同生活援助事業」は各事業所が連携して、地域家族会の協力、支援を受けながら充実・強化する事ができた。特に地域活動支援センターは B 型や就労移行事業など他事業所併用の精神障がい者への生活支援にも取り組むことに重きをおいており、財務的に厳しい中でも、精神障がい者への理解・啓発や施策提言も、例年通り活動することができた。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	活動計算書 の事業費の 金額 (単位:千円)
(1)自立生活 支援に関する 事業	① 無料障がい者サロ ンの運営	(A) 毎週日曜日 (B) 宮若市磯光 (C) 2 名～3 名	(D) 家族、一般 市民、障害 者 (E) 1 回 7 名程 度	4 4 5
(2)障害者の 社会復帰を 支援する 施設の運営 事業				
(3)障害者の 社会活動と 就労の支援 事業				
(4)障害者に 関する啓発 広報等の事 業	① 研修会・講演会(家 族教室、交流会等) の開催	(A) 家族教室 他 月 1 回 8 月休会 (B) 福岡県直方総合庁 舎 他 (C) 11 名	(D) 家族、一般 市民 (E) 各会 25 名 程度 (2 月は 30 名加算)	1, 2 2 1
	② 機関誌(会報)啓発 文等による広報事 業 ・なおみの会ホーム ページ隔月更新	(A) 年 6 回発行 (B) 家族、行政、医療 機関等 (C) 11 名	(D) 家族、一般 市民、行政、 医療機関、 各種団体等 (E) 各号 500 部	6 0 0

(5) 精神障がい者福祉政策に関する提言事業	① 各市町自治体の各種政策会議参加	(A) 年数回 (B) 各行政棟他 (C) 7名	(D) 家族、一般市民 (E) 2市2町市民	200
	② 各市町のボランティア連絡会他への参加	(A) 各会議の例会他 (B) 各総合福祉センター他 (C) 7名	(D) 家族、一般市民	100
(6) 障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業	① 就労継続支援事業	(A) 通年 (B) 作業所他 (C) 常勤6名 非常勤3名	(D) 作業所利用者 (E) 実利用者37名	40, 148
	② 各種イベント時の販売活動	(A) 2市2町及び各社協などのイベント開催日 (B) 各イベント会場 (C) 支援員、家族、当事者、ボランティア	(D) 作業所利用者 (E) 実利用者70名	700
	③ 障害者の社会活動や就労支援	(A) 通年 (B) 鞍手直方地域の各行政、各企業や各種団体 (C) 8名	(D) 作業所利用者 (E) 25名	500
	④ 行政や各種団体への障害者短時間及びグループ就労支援	(A) 通年 (B) 宮若市他 (C) 5名	(D) 作業所利用者 (E) 12名	500
	⑤ 障害者の雇用先の開拓の為就労支援機関等と連絡調整を行う	(A) 随時 (B) 直方鞍手地域周辺 (C) 4名	(D) 作業所利用者 (E) 7名	500
	⑥ 家族から独立した暮らし方の支援 (共同生活援助事業)	(A) 通年 (B) 事業所 (C) 常勤1人 非常勤2人	(D) 障害者 (E) 5名	7, 998
	⑦ 生活・暮らし方全般の相談支援 (特定相談支援事業)	(A) 通年 (B) 事業所 各関係機関他 (C) 常勤2名	(D) 障害者 (E) 45名	2, 933
	(7) 障害者総合支援法に基づく地域活動支援センター事業	① 障がい者の日中活動支援（生活相談・創作活動・生産活動・地域との交流）	(A) 通年 (B) 事業所 (C) 常勤1名 非常勤1名	(D) 障がい者及び家族 (E) 49名
② 作業所利用者の家族に対する相談		(A) 通年 (B) 事業所 (C) 常勤1人 非常勤1人	(D) 作業所利用者等及び家族 (E) 90名	200